

《担当者名》 歯学部教授 / 照光 真 歯学部講師 / 吉本 裕代 歯学部助教 / 大桶 華子・藤田 尚正

【概要】

歯科における歯科麻酔学は、口腔外科手術や障害者の歯科治療のための局所麻酔、全身麻酔、精神鎮静法下での歯科治療、全身疾患を有する患者の全身管理、生体情報モニターを用いた患者管理、慢性疼痛患者のペインクリニック、そして院内での救急治療などである。本講義・実習では歯科麻酔領域業務の基本について学び、さらに診療介助を行う際に知っておかなければならない業務について実習を行う。

【学修目標】

局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、およびペインクリニックの概略について説明できる。  
 歯科処置時の偶発症および救命救急処置について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科治療における歯科麻酔と患者管理 歯科治療で問題となる基礎疾患	歯科麻酔について 全身状態の評価と患者管理 医療面接、ストレス、バイタルサインのモニタリング 循環器疾患、脳血管障害、代謝性疾患など P174～184、P9～18	照光 真
2	精神鎮静法 ペインクリニック	吸入鎮静法 静脈内鎮静法 P194～199 歯科領域にみられる慢性疼痛疾患、麻痺性疾患とその治療法 P185～193、P122～129	照光 真
3	局所麻酔	局所麻酔の方法 局所麻酔薬の分類と種類、血管収縮薬の作用 局所麻酔に使用する器材 局所麻酔時の局所的偶発症	大桶 華子
4	全身麻酔	全身麻酔のための術前管理 全身麻酔法 術中、術後管理 全身麻酔下歯科治療と日帰り全身麻酔 P200～205	吉本 裕代
5	急変時の対応 救急蘇生法	歯科治療中の全身的偶発症 BLS（一次救命処置）、ACLS（二次救命処置）、胸骨圧迫、人工呼吸、気道確保の方法について P206～215	照光 真
6 ) 10	救急蘇生法の実際 局所麻酔法の実際 笑気吸入鎮静法の実際 生体情報モニター観察の取扱と実際	歯科診療室におけるBLS 局所麻酔に使用する薬剤・器具（注射針・注射器）の取扱い 笑気吸入鎮静法に使用する器材の取扱い 生体情報モニターの取扱いとバイタルサインのチェック	照光 真 大桶 華子 藤田 尚正

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験、実習態度、レポート

**【教科書】**

最新衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」第1版第9刷（2017年）全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

**【参考書】**

「歯科麻酔学」第8版（2023年）医歯薬出版

**【学修の準備】**

教科書：「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」を予習しておく。（60分）

復習は教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること。（90分）

**【実務経験】**

照光 真（歯科医師）、吉本 裕代（歯科医師）、大桶 華子（歯科医師）、藤田 尚正（歯科医師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

歯科麻酔学は、歯科医療の安心安全を支える学問と臨床体系である。多くの基礎や臨床分野の知識を統合して、問題解決にあたる必要がある。実務経験による理論と実践に基づいた、高い教育効果をもつ歯科麻酔学を学習するための内容となっている。